

図1 位置図

(2 事業概要 ①所在地)

東淀川区東淡路2・4丁目、菅原5丁目、淡路3・4・5丁目の一部

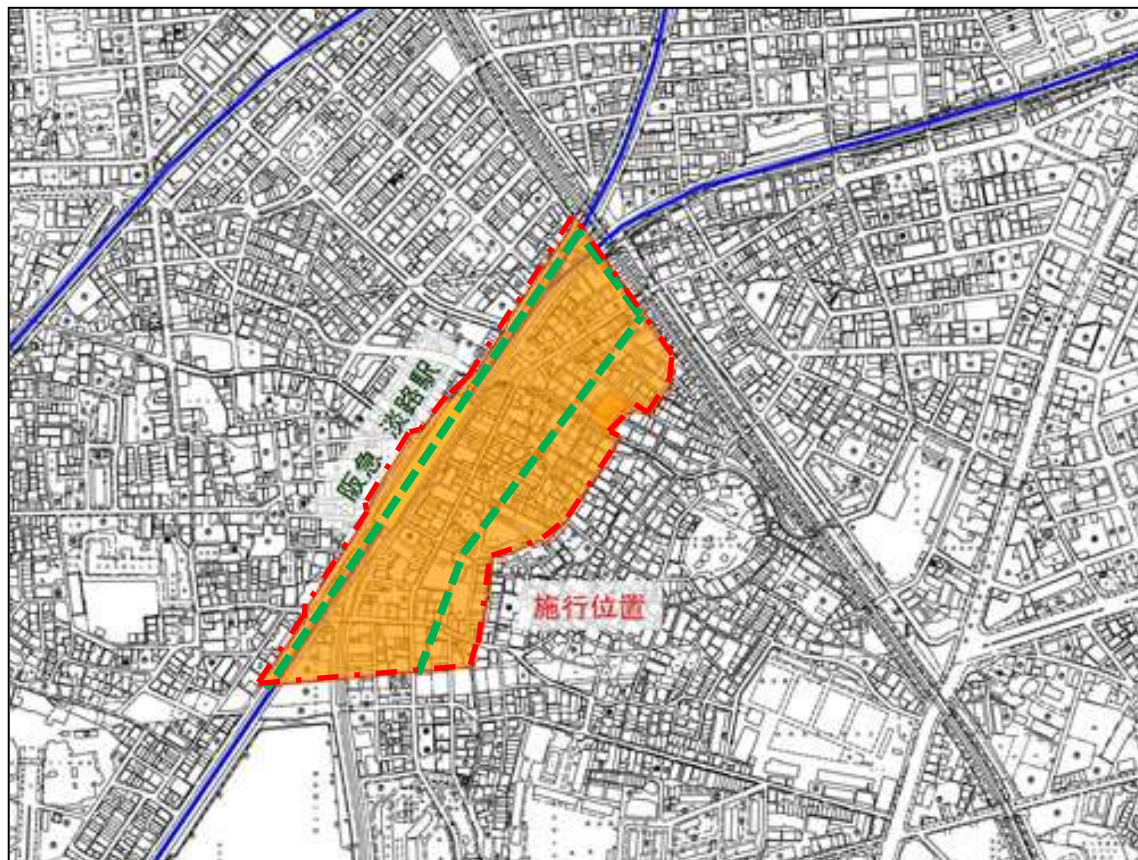


③ 費用便益分析

土地区画整理事業 B/C=1.63	
便益	(単位:百万円)
総地代 事業なし	8,034
総地代 事業あり	10,106
差(1年間の便益)	2,072
便益総額の現在価値	48,561
費用	(単位:百万円)
事業費(単純合計)	29,488
維持管理費(単純合計)	291
投資総額の現在価値	29,825

街路事業 B/C=1.25	
便益	(単位:百万円)
走行時間短縮便益	516
走行経費減少便益	25
交通事故減少便益	0.2
歩行者に関する便益	640
合計(初年便益)	1,181
便益総額の現在価値	21,199
費用	(単位:百万円)
事業費(単純合計)	19,726
維持管理費(単純合計)	291
投資総額の現在価値	16,912

計画道路の概要



<凡例>

- 都市計画道路 淡路駅前線
- - - 淡路駅周辺地区土地区画整理事業 施行区域

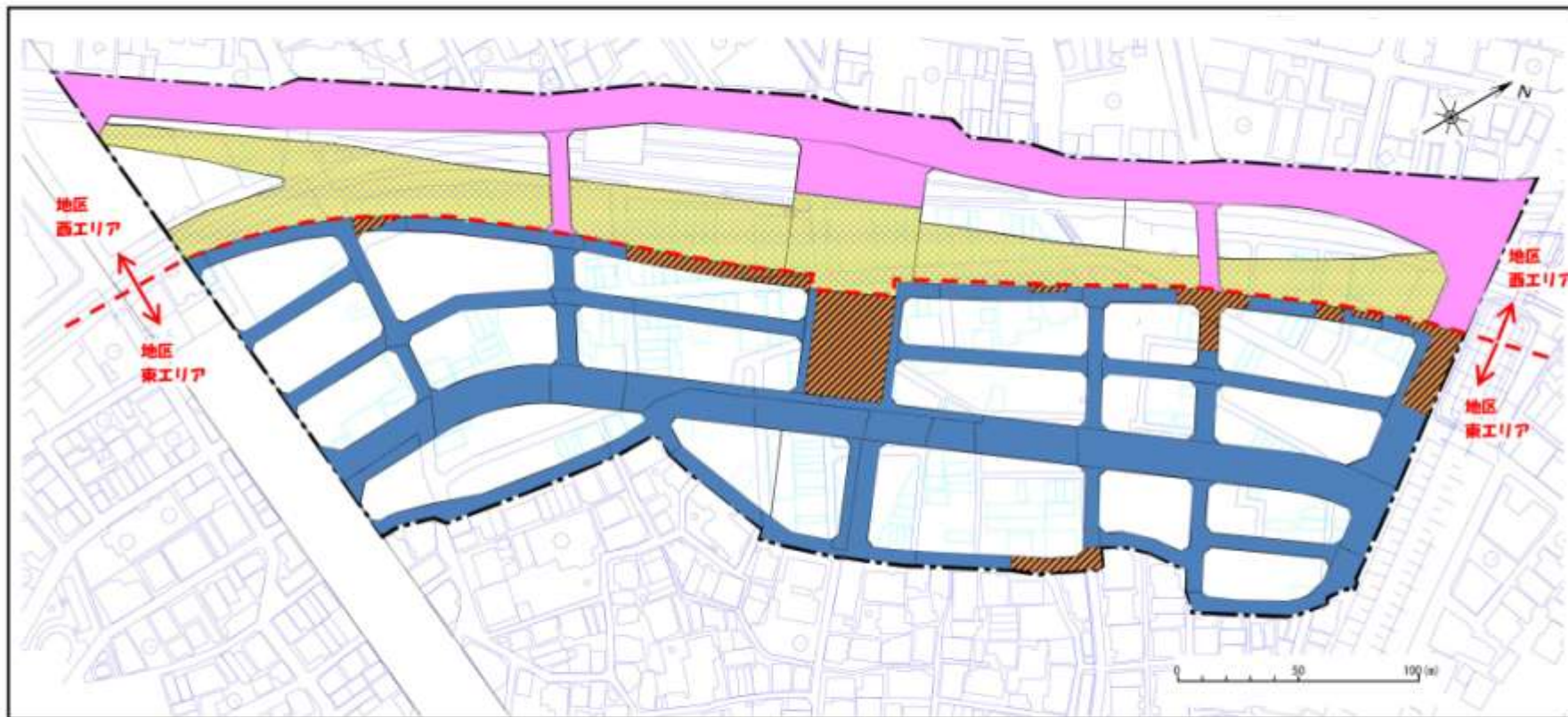
図3 進捗状況

(4 事業の実現見通しの視点)

② 事業規模 道路整備工事の進捗状況

大阪都市計画事業淡路駅周辺地区土地区画整理事業

平成 26 年度以降 道路整備工事工程図



【凡例】		整備年度
地区東エリア		過年度
地区東エリア		H26～H32
地区西エリア		H30～H32

阪急電鉄新鉄道敷

* 地区東エリアの都市計画道路淡路駅前線は平成 30 年度までに本整備を行う。

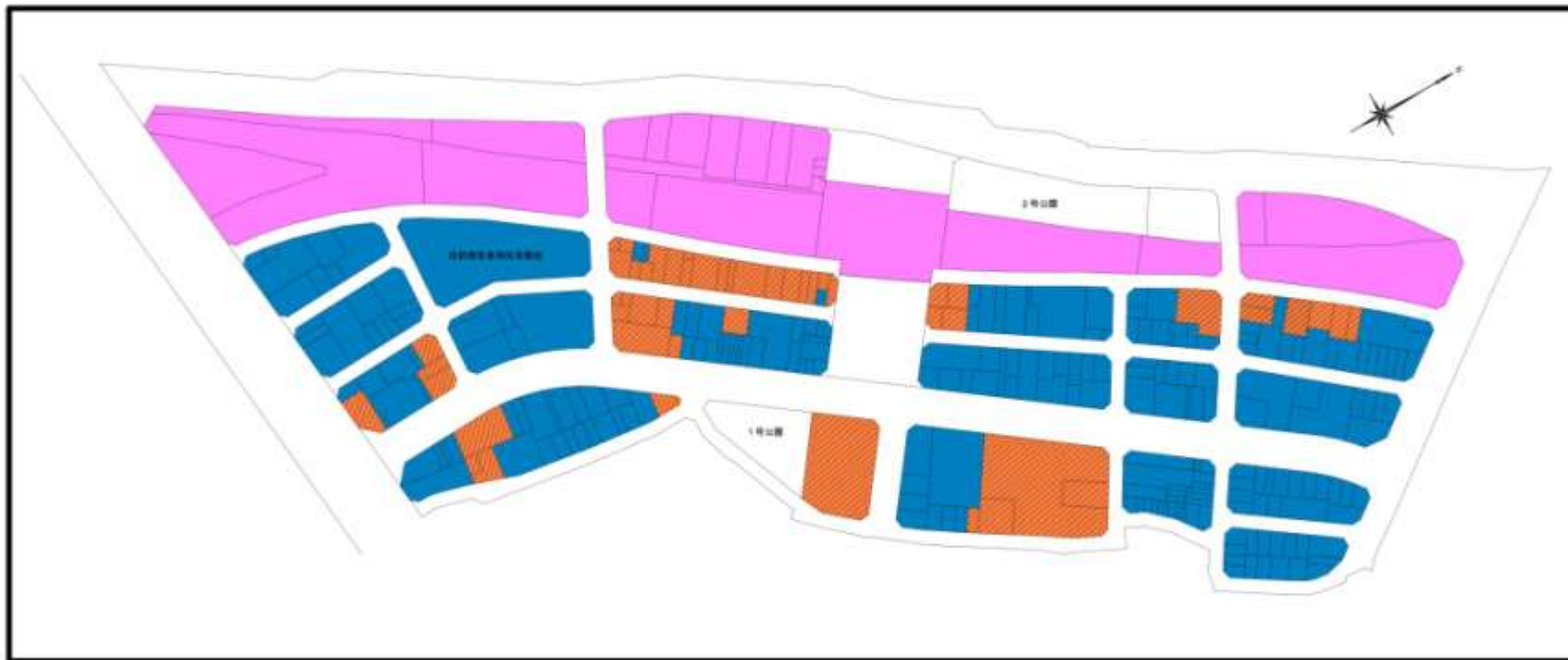
* 地区西エリアのまちは平成 29 年度の高架切替後に整備を行う。

図4 進捗状況

(4 事業の実現見通しの視点)

② 事業規模 使用収益開始の状況

大阪都市計画事業淡路駅周辺地区土地区画整理事業
平成26年度以降 使用収益開始予定箇所図



【凡例】	使用収益開始年度
■	前年度
■	平成26～27年度
■	平成28～32年度

※使用収益…土地を直接に利活用して利益・利便を得る事。

図5 現況写真

(4 事業の実現見通しの視点)

① 従前居住者用住宅



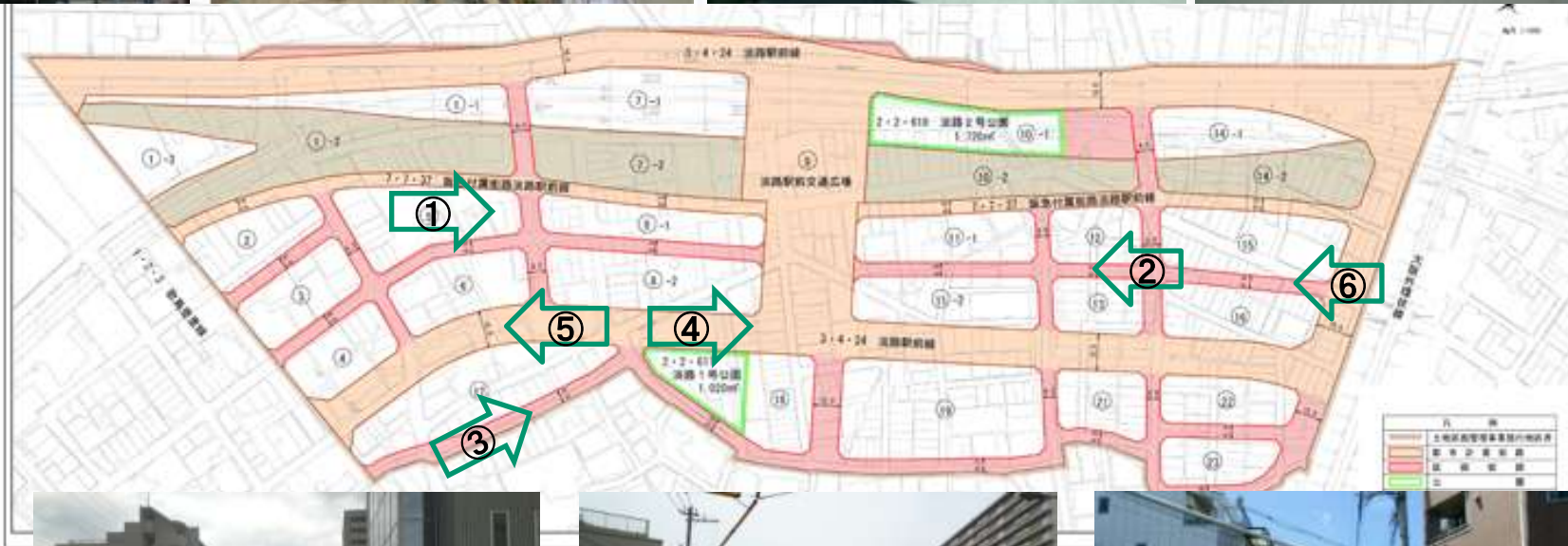
① 従前居住者用住宅屋上より地区東側エリア



② 商店街区



③



④ 淡路駅前線(東側)の用地確保と仮整備

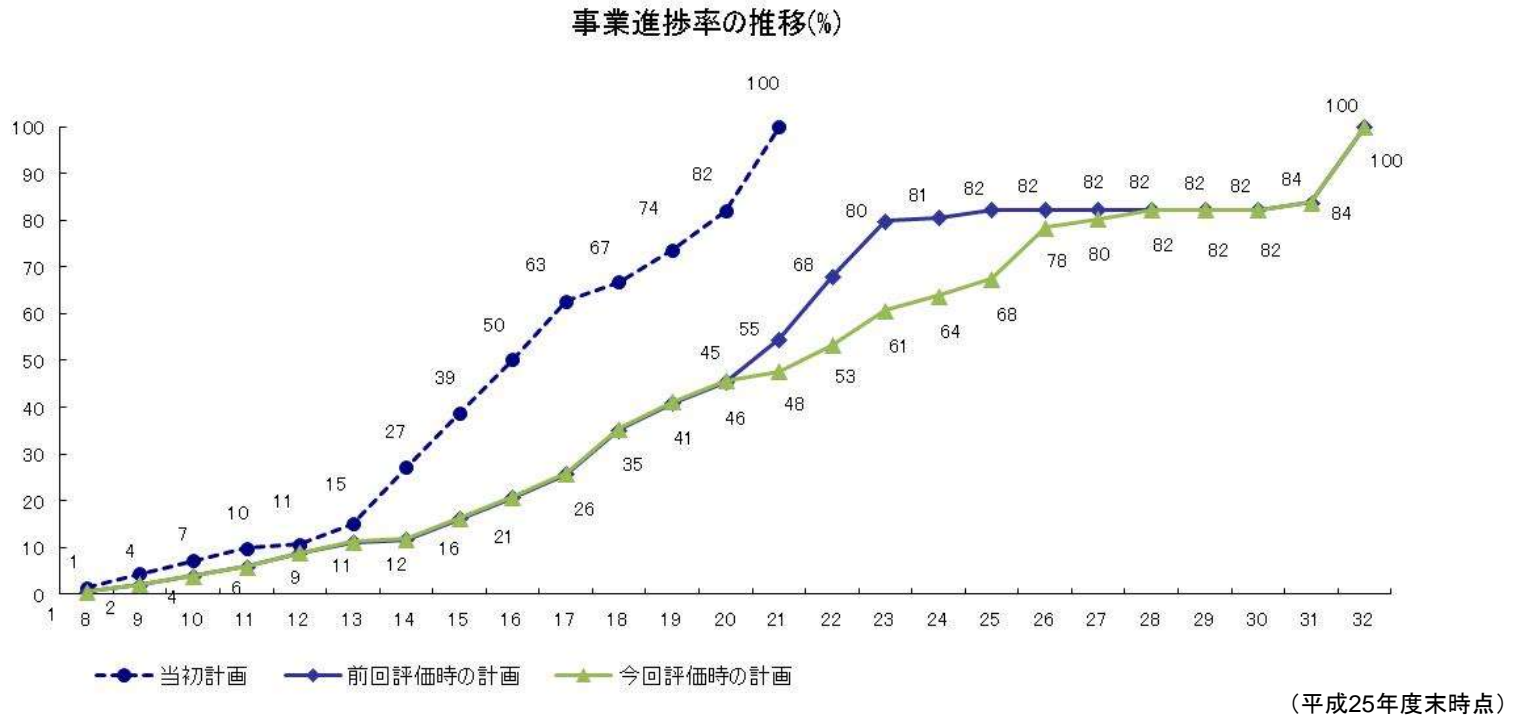


⑤ 淡路駅前線(東側)の用地確保と仮整備



⑥

② 事業規模



主な残事業の内容

- 残事業費:63億円(総事業費:368億円)
- 建物移転:39戸(総戸数:915戸)
- 街路排水:1,565m(総延長:3,036m)
- 街路築造:1,268m(総延長:3,040m)
- その他:公園整備2箇所(総箇所:2箇所)
- 駅前交通広場1箇所(総箇所:1箇所)

今後のスケジュール(見込み)

- 2017(H29)年度 高架切替
- 2018(H30)年度 地区東エリアの都市計画道路の完成
- 2020(H32)年度 換地処分